

事業番号	15 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課	
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・変化が激しく予測困難な時代に直面する中、「新たな社会や価値を創造する力」を育成するため、大学や企業等と連携した探究的な学び、多様で新たな学びを推進していく必要がある。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への留学支援や、参加型イベント、フィールドワーク等、校外での活動に制約が出てしまった。

2 事業目的

高校での学びを従来の知識を蓄えることを中心とした学びから、他者と協働した能動的な活動の過程で考察・理解を深めることを中心とする「探究的な学び」に転換していく。その学びの中で、生徒が「知識・技能」とともに「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく身に付けるようにする。生徒が「探究的な学び」を地域や世界の中で深めることで、自己の在り方や社会との関わりについて、地域に根ざしたグローバルな視野で考え、自ら構想したキャリアデザインを実現できるようにする。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 学びの改革や先進的な取組を展開**
 ・【新】県立高校におけるデジタル人材育成を強化するため、3Dプリンター等のICT機器を整備し、探究的な学びを推進（明許繰越）
 ※その他の事業は当初予算のとおり
- ② 参加型、探究型のイベントを開催**
 当初予算のとおり
- ③ 海外留学への機運を醸成**
 当初予算のとおり
- ④ 高校生の進学や就職を支援**
 当初予算のとおり

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	ALネットワーク参加校数	校	11	17	↑	17	→	18	△	国内外、県内外と連携してカリキュラム開発を実施するWWLコンソーシアムの展開を進め、ALネットワークに参画する県内高校を増やしていくため、令和5年度は18校を目標として設定	
②	探究的な学びの質を高める大会・コンクール・発表会への参加生徒数	人	357	347	↓	384	↑	400	△	探究的な学びの質を高める大会等への参加者を高めていくため、令和5年度は400人を目標として設定	
③	海外留学に向けた啓発イベント参加者数	人	57	108	↑	114	↑	200	△	海外留学を促進するための説明会等を実施し、総合5か年計画に掲げる海外への留学者率を高めていくため、令和5年度は200人を目標として設定	
④	インターンシップ実施校率	%	66	73.4	↑	91.1	↑	80	△	インターンシップ実施校率を高めることで、高校生の多様な進路選択を支援するため、令和5年度は80%を目標として設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	学校の教育活動全般に対する生徒(高校生)の満足度	%	2020 (R2)	84.2	2021 (R3)	84.3	2022 (R4)	85.3	2027 (R9)	84
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	★高校生の海外への留学者率	%	2020 (R2)	0.01	2021 (R3)	0.03	2022 (R4)	0.67	2027 (R9)	2
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校現役生で進学希望者のうち進学した者の割合	%	2020 (R2)	91.2	2021 (R3)	92.4	2022 (R4)	92.6	2027 (R9)	95
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	公立高校卒業後就職希望者の就職内定率	%	2020 (R2)	97.9	2021 (R3)	98.5	2022 (R4)	98.1	2027 (R9)	100

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額					
R5年度	0	412,687	200,000	200,000		612,687	314,784	△	13.0
R4年度	0	417,832	△ 23,172			394,660	329,640	360,827	13.0
R3年度	0	444,047	14,109			458,156	334,444	397,065	13.0

事業名	「探究的な学び」推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	---------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	科学教育推進事業	10,628 千円	10,418 千円	予算現額 210,535 うち今回補正額 200,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	科学オリンピック養成講座	直接	ものづくり、イノベーションを支え、世界で活躍できる科学技術人材を育成するために、物理・化学・生物・地学・情報・数学の大学教員による実力養成講座を実施し、自然科学等を学ぶことの面白さを伝える。また、各種科学コンテスト参加者を増やし、勝ち抜いていくための実力を養成する。 実力養成講座5分野（物理、化学、生物、地学、情報）に各10名程度参加	
2	サイエンス・アソシエーション・プロジェクト	直接	ものづくりやそれにつながる基礎研究に対する生徒の興味喚起や視野拡大、また、国際性の涵養や卓越性の伸長を図り、世界で活躍できるグローバル人材を育成するため、県立高校が企画して実施する、大学・研究機関・企業と連携して行う科学技術に関する国内研修を募集し経費を助成する。 上限300千円/校、15件	
3	信州サイエンスキャンプ	直接	理数系科目への興味・関心を高め、将来地元産業を支える科学技術系人材を育成するため、自然科学系部活動、理数科等の生徒同士の交流を通して、切磋琢磨できる場を開催する。 信州サイエンステクノロジーコンテスト、課題研究合同研修会、信州サイエンスミーティングを各1回開催	
4	スーパーサイエンスハイスクール指定校支援事業	直接	生徒の科学的能力を培い、将来、国際的に活躍する科学技術関係人材を育成するため、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の指定校に対する事業支援と指導を実施する。 指定校：飯山高校、屋代高校・附属中、諏訪清陵高校・附属中	
5	信州みらいクリエイターズ育成事業	委託	プログラミング教育を含む他の教員を指導できる実力を持つ教員を育成するための、リーダー（フェロー）養成研修を実施する。 信州のものづくりを支える人材養成を図るため、小中学生を対象に「信州Makers教室」「信州Makersキャンプ」の開催を民間事業者へ委託する。 信州Makers教室2地区開催、信州Makersキャンプ1回、Makersフェロープログラム16回	
6	県立高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）	直接	県立高校においてデジタル等の成長分野を支える人材を育成するため、情報・数学等の教育を重視するカリキュラムの実施やICT教育に必要な環境を整備（専門人材・外部有識者による特別授業を実施、3Dプリンター等の導入） 県立高校20校	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	カリキュラム編成支援事業	98,581 千円	95,899 千円	予算現額 95,899 うち今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	カリキュラム編成支援事業	直接	県立高校において、特色あるカリキュラムを編成し、キャリア形成につながる学びや「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、非常勤講師又は学習支援員を配置する。 非常勤講師76校、学習支援員50校に配置	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
3	学力向上推進事業	16,453 千円	14,418 千円	予算現額 10,214 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	教育課程改善推進事業	直接	文部科学省主催の各教科担当指導主事連絡協議会等への参加による情報収集及び伝達を行う。 各教科担当指導主事連絡協議会4回、教育課程研究協議会4地区各1回	
2	高大接続改革対策支援事業	直接	高大接続改革や探究的な学びに向けた各校の取組・実践を推進するために、研究協議会、研修会等の実施と各校の取組に対する支援を行う。 進路指導研究協議会1回、入試情報システム30校導入	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
4	「高校生学びのフォーラム長野」&「信州学」推進事業	9,864 千円	9,773 千円	予算現額 9,773 今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	「信州学」推進事業	直接	地域の中にある課題を発見、解決する能力の育成を図るとともに、信州に根差した確かなアイデンティティと世界に通じる広い視野を育成するために、地域に根差した探究的な学びの推進を支援する。 全県立高校（101校）で信州学を実施	
2	「高校生学びのフォーラム長野」推進事業	委託	優れた指導者のファシリテートのもと、各校の探究的な学びの質を高めるために、学校の枠を超えて生徒が一同に会して学びの成果を発表し合い、互いに自らの今後の成長の方向性を確認する機会を提供する。 スタートアッププログラム、中間相談報告会、伴奏者フォーラム、マイプロ長野県サミット各1回開催	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
5	キャリア教育推進事業	4,008 千円	4,008 千円	予算現額 4,008 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	キャリアデザイン力育成事業	直接	生涯にわたるキャリアデザイン力を育成し、発達段階に応じた社会的・職業的自立を図るために、就業体験活動等の経費を負担する。 キャリア・チャレンジ・プログラム：損害賠償保険補助約8000名分	
2	高等学校教科競技大会派遣事業	交付金	教科競技の振興を図ることで専門性を高めた学びを実現するため、専門高校の全国大会等への参加に係る経費を補助する。 交付先：高等学校教科競技大会に参加する団体 補助対象延べ30校程度を支援	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
6	グローバル人材育成事業	212,210 千円	231,528 千円	予算現額 256,213 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業	直接	WWL事業のカリキュラム開発拠点校、共同実施校を中心に研究開発した、イノベティブなグローバル人材育成に資する文理横断的な学習プログラムをデジタルコンテンツ化し、県内の高校生が自宅等学校以外でも受講できる仕組みを整備するとともに、受講した高度な学びについて、単位認定の在り方を調査研究する。 拠点校（上田）、共同実施校（松本県ヶ丘）、連携校16校	
2	「海外での学び」推進事業 信州つばさプロジェクト	直接	高校生の留学気運の向上を図るため、留学フェアの開催や事業の広報活動等を行う。高校生の海外留学の「最初の一步」を支援するため、教育委員会と連携協定を結んでいる台湾をはじめ、米国、カンボジア、マレーシア等で、県が企画する短期留学プログラムを実施する。	
		負担金 補助金	グローバル探究リーダーを育成するため、産学官連携コンソーシアムを設立、運営していく。 高校生の留学者数を倍増させるため、個人留学に対して、行先と期間に応じて経費の一部を補助する。補助金交付先：県内の高校生 県企画4コース（80名）、個人企画（短期・長期100名）	
3	留学キャラバン・高校生海外研修事業	補助金	高校生の海外大学進学や留学を促進するため、留学支援員の配置、海外大学進学者による講演会や座談会及び海外大学進学者と直接語り合う講座等を実施する。高校生の海外大学進学を促進させるため、国費による学校単位の留学支援を行う。補助金交付先：県内の高校生 海外留学講座4回、学校単位の留学企画3件	
4	信州英語教育ルネサンス事業	直接	英語4技能をバランスよく育成するため、小・中・高校の英語教員を対象にした研修やパフォーマンステストの実践を研究する協力校を募集し、モデル授業を普及 小中校の英語教員を対象とする長野県英語教育フォーラム1回、研究協力校、教員研修	
5	外国語指導助手（ALT）配置事業	委託	高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等へ外国語指導助手を配置する。 高校生の豊かな英語コミュニケーション力と異文化理解のため、県立高校等への外国語指導助手の配置を業務委託する。委託先：民間事業者 ALT43名を配置	
6	サマースクール等を活用した多様な学びの機会創出事業	直接 負担金	子どもたちの多様な進路選択、興味関心に対応するため、高校生が国際的に活躍する社会人や大学生等と交流する機会を提供する。また、関係機関等とサマースクール等の普及促進について検討する。 参加者数50名程度	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
7	学校芸術文化振興事業費	24,005 千円	19,174 千円	予算現額 19,646 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県高等学校文化・芸術フェスティバル	負担金	<p>高校生の芸術文化活動の活性化を図るため、県・支部単位で開催される創作活動成果の発表会について、開催経費の一部を負担する。 交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>県大会・支部大会で延べ約10,000人を支援</p>	
2	高等学校文化振興事業（大会生徒派遣事業）	交付金	<p>高校生の文化活動の、より高いレベルでの成果発表を支援するため、全国大会、ブロック大会に出場する生徒の参加経費の一部を補助する。 交付先：県高等学校文化連盟</p> <p>全国大会（13大会）、ブロック大会（5大会）への参加支援</p>	
3	高等学校芸術文化鑑賞事業	直接	<p>定時制・通信制の高校、小規模校が芸術文化鑑賞に触れる機会を確保するため、学校行事として行う芸術文化鑑賞に関する公演料と交通費の一部を助成する。 約6,000人を支援</p>	
4	2018信州総文祭を次世代につなぐ文化部活性化事業	負担金	<p>2018信州総文祭開催を契機にレベルアップした文化部活動が継続的に発展するとともに、その成果を普及させるために、技術講習会等の実施経費を負担する。 負担先：県高等学校文化連盟の該当する専門部</p> <p>講習会のべ80回</p>	
5	ウィーン楽友協会との姉妹提携事業	直接	<p>小諸高校音楽科生徒の中から世界レベルの音楽技術を習得した音楽家を輩出するため、ウィーン楽友協会との姉妹提携を生かし、一流の音楽家による実技指導等の機会を提供する。 生徒18人のウィーン派遣を支援</p>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
8	特色ある学校設置事業	6,334 千円	6,334 千円	予算現額 6,399 うち今回補正額 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県立高校「未来の学校」構築事業	直接 負担金	<p>「高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針」に基づき、先進的・先端的な研究開発を行うため、異なるテーマの実践校6校を指定し、概ね5年間研究開発に取組み、評価・検証を行いながら成果の普及を図る（R5年度は5年計画の4年目）。 国際バカロレアワークショップに教員2人を参加させ、国際基準を満たす総合的な教育プログラムや学校現場での実践・指導法を習得することにより、国際教育プログラムの長所を生かした新しい教育課程の充実を図る。 負担先：国際バカロレア機構</p> <p>「未来の学校」実践校6校（野沢北、須坂、飯田風越、木曾青峰、坂城、松本深志）の実践研究推進の支援、成果の普及に向けた報告会等の支援を実施</p>	